

## 第48回 病態生化学セミナー

日時：平成23年6月7日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：質量分析による微量タンパク質同定とその染色体研究への応用

演者：北海道大学 大学院先端生命科学研究院 分子細胞生物学研究室 教授  
小布施力史 先生

プロテオームはある条件下で細胞や組織で発現しているタンパク質を網羅的に把握することを意味し、そのための解析法や方法論を含めてプロテオミクスと呼ばれている。近年、多くのモデル生物種で全ゲノム配列が明らかになり、この情報と質量分析技術が融合し微量タンパク質の解析手法に飛躍的な進歩をもたらした。本講演では質量分析法によるプロテオミクス技術の原理を概説するとともに、われわれが行っているヒトの遺伝情報の発現、維持、継承の研究の例を交えて、プロテオミクス技術が分子細胞生物学研究に如何に有用な技術であるかについて紹介したい。

【小布施力史】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail [turano@med.shimane-u.ac.jp](mailto:turano@med.shimane-u.ac.jp)